

生徒の男女比変化に 対応した女子トイレは 受験生も注目。

美しいトイレは
学校の大きな特色に

公立高校とは異なり、私立高校は「進学」「スポーツ」など、さまざまな特徴づけを行うところが多い。それゆえに共学であっても、男女比率に偏りが生まれることも少なくない。

100年の歴史を持つ向上学園は建学時から男女共学だったものの、伝統的に男子比率が高く、事務長の佐々木茂穂氏によると、数年前までは女子の比率が3割にも満たなかったという。「全国レベルの運動部を多く抱えていることなども影響していたのかもしれないですね」

しかし文武両道を目指し、文理、選抜、特進の3つのコースを設けたところから次第に女子生徒の比率が高まり、現在では全体で4割、難関大学を目指す特進コースでは5割を超えた。

学校には活気と落ち着きが生まれたが、その一方で女子トイレに慢性的な行列が見られるようになってしまったという。そのため、昨年度改修されたのが写真の女子トイレだ。改修前のトイレは洋式便器、和式便器2つずつで構成されていたが、ブース総数を7つに。すべてを洋式便器とし、ウォシュレットと擬音装置（音姫）を備えた。

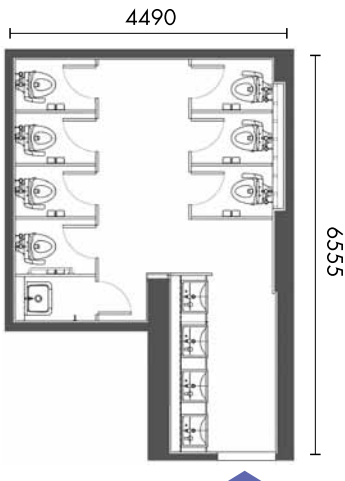
この「音姫」は生徒の評価も高く、改修後に行ったアンケート（気に入った設備）では「雰囲気」「明るい照明」に続き、3位にあげられたほどだ。また、学校見学に訪れる受験生や保護者の方々にも好評で、受験者数の増加に貢献するのでは、と期待されている。

もともと特色豊かな向上学園だが、学校生活の基本を支える設備も学校の立派な特徴になり得ることを証明した好例だ。

●改修前



●改修後



1. 幅広いボウルでしっかり洗え、水はねも少ない洗面器を採用。スポーツ後の洗顔にも便利。
2. 入り口付近に設置された窓。改修後に行った生徒向けアンケートで「用足し以外のトイレでの行動」をたずねると、64%の生徒が「身だしなみ」と回答。3. ウォシュレット、音姫付きの洋式便器。棚付きの二連紙巻器はポーチ等が置いて便利。4. 改修前には2つしかなかった洋式便器がなんと7つに。

【向上高等学校】

- 竣工年月／2010年8月
- 所在地／神奈川県伊勢原市見附島411
- 生徒数／男子920名、女子629名
- 施主／学校法人 向上学園
- 設計監理／株式会社 竹中工務店
- 施工／株式会社 竹中工務店
- 敷地面積／29,584㎡
- 延床面積／18,209㎡